

2023年7月3日

毎日放送

「西本願寺音舞台」(英語版)が銀賞受賞 米・USインターナショナルアワード 2部門で

2023年の「USインターナショナルアワード」(アメリカ・ロサンゼルス)において、MBS制作「西本願寺音舞台」(英語版:NISHI HONGWANJI OTOBUTAI)がドキュメンタリー「文化&ライフスタイル」及び「歴史&社会」の計2部門で「銀賞」を受賞しました。

1967年に始まったUSインターナショナルアワードは、ドキュメンタリー、オンライン・ソーシャルメディアなど各種の映像作品を対象に開かれる国際コンクールです。

本作品「西本願寺音舞台」の海外コンクールでの受賞は、2022年4月のニューヨークフェスティバル「銅賞」、2022年6月のドイツ・ワールドメディアフェスティバル「金賞」に続き、3度目となります。

なお、今年の音舞台は、9月9日(日)東寺で開催、11月12日(日) 深夜0時30分~1時24分、MBS・TBS系全国ネットで放送予定です。

また、TVer、MBS 動画イズムにて配信(放送後1年間)も予定しています。

—記—

【受賞作品】

- タイトル 「西本願寺音舞台」(NISHI HONGWANJI OTOBUTAI)
※ 2021年10月24日(日)放送分の英語版
- 出演 村松崇継、宮田大、Cocomi、中村祥子、錦織健、工藤静香、SILT、比嘉愛未
- ナレーター ゲーリー・テグラ
- 演出 高沖秀明
- プロデューサー 三浦敏彦、村上嘉章
- ディレクター 尾崎洋仁
- 技術 露口三郎、上田一路
- カメラ 田中慶太郎
- 音声 金谷宣宏
- ポストプロ 野畑智樹、佐藤雅哉
- MA 久保秀夫
- 翻訳 猶原祥光
- イベント制作 黒田雅浩、金谷かほり

- 主催 京都仏教会、毎日放送
- 特別協力 浄土真宗本願寺派 龍谷山 本願寺
- 企画設定 京都仏教会
- 製作著作 毎日放送

■番組内容

音舞台とは、京都の名刹を舞台に様々なアーティストが繰り広げる、一夜限りの夢のステージです。

34 回目となった 2021 年は、世界遺産の西本願寺で開催されました。

コロナ禍の影響で不安を抱える世の中に音楽の力で勇気と希望を届けたいとの思いを込め、出演アーティストたちが選んだテーマは「いのち」。映画音楽作曲家として著名な村松崇継さんが音楽監督を務め、日本を代表するチェリスト宮田大さん、バレエダンサー中村祥子さんをはじめとするアーティストたちが、それぞれの思いを込めてパフォーマンスを繰り広げました。

番組では、幻想的なステージに、生命科学者・柳澤桂子さんの詩集「いのちのことば」を織り交ぜ紡いでいきました。原因不明の病と 30 年以上闘いながら「生と死」を見つめてきた柳澤さんならではの言葉を、女優の比嘉愛未さんが朗読、四百年前の華麗な桃山文化を彷彿とさせる伽藍に、「いのちのことば」が響きます。

番組のクライマックスの「いのちの歌」では、歌手の工藤静香さんが、長女のフルーティスト Cocomi さんと母娘初共演し、歌のメッセージである「継承されてゆく いのちの尊さ」を体現しています。

「西本願寺音舞台」は、「いのちのことば」を音楽に乗せ、安らかで穏やかな日々への願いを込めた番組です。

お問い合わせ先：毎日放送 総合編成局 マーケティング・PR 部